DX型CO2削減対策実行支援事業　成果報告書（まとめ）

GAJ番号：XXXXXXX

交付決定通知書に記載のGAJ番号を記入する。

【実施計画】

プルダウンメニューから「DX」または「－」を選択する。

※1 自動計算・自動転記セル（網掛け）には直接入力をしないこと。

入力セル　プルダウンメニュー選択セル　自動計算・自動転記セル

対策項目	DXシステム活用の有無	対策個票	対策の種類	対策内容	導入設備	実施年度（取組み開始時期）	①費用（円）	②CO2排出削減目標量（t-CO2/年）	③ランニングコスト削減目標量（円/年）	④法定耐用年数（年）	⑤②*④（t-CO2）
DXシステムによる計測	DX	1	設備導入（更新）	コンプレッサーの更新	電動コンプレッサー	令和9年度 4月	10,000,000	117	6,502,500	12	1404
	DX	2	運用改善	コンプレッサーの吐出圧力低減による消費電力削減対策		令和8年度 9月	200,000	50	2,689,375		0
	－	3	部分改修/機能付加	吐出圧力低減対策（給気口のフィルタ清掃、空気漏洩箇所の補修）		令和8年度 9月	100,000	1	-3,687		0
		4					0	0	0		0
		5					0	0	0		0
		6					0	0	0		0
		7					0	0	0		0
		8					0	0	0		0
		9					0	0	0		0
		10					0	0	0		0

※実施計画に位置付けない検討した提案対策も含め、全てを対策個票へ記載してください。
※実施年度、詳細等が不明確の場合は、未記入箇所が有って可とします。

対策個票1～10より、自動記載される。

※プルダウンメニューから実施状況を選択する。
「実施予定」：実施計画にて策定した対策を「次年度以降等で実施する場合」
「実施中」　：実勢計画にて策定した対策を「現状実施中の場合」
「実施済」　：実施計画にて策定した対策が「実施済みの場合」

【実　績】

対策項目	DXシステム活用の有無	対策個票	対策の種類	実施状況	対策内容	CO2排出削減量（t-CO2/年）
DXシステムによる計測	DX	1	設備導入（更新）	実施予定	コンプレッサーの更新	117
	DX	2	運用改善	実施済	コンプレッサーの吐出圧力低減による消費電力削減対策	33
	－	3	部分改修/機能付加	実施予定	吐出圧力低減対策（給気口のフィルタ清掃、空気漏洩箇所の補修）	
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
		9				
		10				
					合　計	150

【実績見込み値】を記載する。

対策個票1～10より、自動記載される。

対策個票1～10より、自動記載される。

【基準年度／計画年度】　※対象範囲へ記入すること。　（単位：t-CO2/年）

※プルダウンより、基準年度以降の年度を選択し、「目標年度」を設定する。
※「目標年度」は、改修支援への応募時の目標年度も考慮の上記載すること。

※プルダウンより、計画年度を選択する。

		基準年度	計画年度・CO2削減量				
エネルギー起源CO2					目標年度		
			令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
事業全体	CO2排出量（対策なし）	1805	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805
	対策による削減効果	—	0	33	150	150	150
	CO2排出量（対策後）	—	1,805	1,772	1,655	1,655	1,655

対策実施後のCO2排出削減量を記入する。
（例：対策個票2でのCO2排出量削減量）

対策実施後のCO2排出削減量を記入する。
（例：対策個票１＋2でのCO2排出量削減量）

【DX型CO2削減対策実行支援実施後の計

■	SHIFT事業「省CO2型システムへの改修支援」に応募して対策実施予定
□	他の補助金に応募して対策実施予定
□	自費で対策を実施予定
□	運用改善のみ

該当する項目にチェックマークを付ける。

※SHIFT事業「省CO2型システムへの改修支援」に応募して 対策実施予定の場合は、応募予定年度を記入する。

令和９（2027）年度

応募予定年度を記入する。

【基準年度排出量】

GAJ No.	XXXXXXX

プルダウンメニューから「１年間」または「３年間」を選択する。

計算期間	1年間

□ 入力セル　□ プルダウンメニュー選択セル　□ 自動計算・自動転記セル

令和７年度		①		②		③＝①*②	活動量	年度開始時点の在庫量（※3）	月別の活動量（使用量・購買量）　記入例は青文字で記入しているが、申請時は黒文字にする。												年度終了時点の在庫量（※3）	製品中への注入量	備考
No.	※ 1～8はﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝより種別を選択 ※ リスト以外については、9～10へ直接入力（※1、※2）	活動量		CO2排出係数		年間CO2排出量																	
		合計	単位	係数	単位	(t-CO2/年)	把握対象		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	商用電力	4,120,600	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,804.8	使用量		335,500	336,600	337,700	345,000	356,000	357,000	349,000	335,500	336,600	337,700	345,000	349,000			
2		0				0.0																	
3		0				0.0																	
4		0				0.0																	
5		0				0.0																	
6		0				0.0																	
7		0				0.0																	
8		0				0.0																	
9		0																					
10		0																					
					計	1,804.8																	

重油等を記載する場合、「年度開始時点」と「年度終了時点」の在庫量がある場合は記載すること。

プルダウンメニューにない種別については、No.9、10に記入し、CO2排出係数、単位、活動量単位を記入する。

この表は入力不要		①		②		③＝①*②	活動量	年度開始時点の在庫量（※3）	月別の活動量（使用量・購買量）												年度終了時点の在庫量（※3）	製品中への注入量	備考
No.	※ 1～8はﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝより種別を選択 ※ リスト以外については、9～10へ直接入力（※1、※2）	活動量		CO2排出係数		年間CO2排出量																	
		合計	単位	係数	単位	(t-CO2/年)	把握対象		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	商用電力	0	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	0.0	使用量																
2		0				0.0																	
3		0				0.0																	
4		0				0.0																	
5		0				0.0																	
6		0				0.0																	
7		0				0.0																	
8		0				0.0																	
9		0																					
10		0																					
					計	0.0																	

この表は入力不要		①		②		③＝①*②	活動量	年度開始時点の在庫量（※3）	月別の活動量（使用量・購買量）												年度終了時点の在庫量（※3）	製品中への注入量	備考
No.	※ 1～8はﾌﾟﾙﾀﾞｳﾝより種別を選択 ※ リスト以外については、9～10へ入力（※1、※2）	活動量		CO2排出係数		年間CO2排出量																	
		合計	単位	係数	単位	(t-CO2/年)	把握対象		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	商用電力	0	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	0.0	使用量																
2		0				0.0																	
3		0				0.0																	
4		0				0.0																	
5		0				0.0																	
6		0				0.0																	
7		0				0.0																	
8		0				0.0																	
9		0																					
10		0																					
					計	0.0																	

合計値（1年間）	1,804.8
合計値（3年間）	1,804.8
平均値（3年間）	–

注

※１：　単位発熱量、CO2排出係数、排出係数は、環境省ホームページ「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック〈補助事業申請者用〉（令和7年3月改訂）」を参照し、本Excelシートに組込まれています。

※２：　ガイドブックに記載の無い活動種別を使用する場合には、換算係数を入手し、そのエビデンスを提出ください。

※３：　年度開始時点および年度終了時点の在庫量を記載する場合、在庫量の計量に関するエビデンスを提出ください。

対策個票１

【設備導入（更新）】の記入例

GAJ No.	XXXXXXX

黄色いセルにプルダウンメニューから選択、または記入すること

□ 入力セル
□ プルダウンメニュー選択セル
□ 自動計算・自動転記セル

対策の種類	設備導入（更新）	
計画年度	令和9年度 4月	← 対策の効果が始まる年度を選択

A	対 策	内 容	コンプレッサーの更新	対策内容を記入する。
		費 用	10,000,000 円	
B	CO2排出削減目標量		117.0 t-CO2/年	
C	ランニングコスト削減目標量		6,502,500 円/年	
D		名	電動コンプレッサー	
		)名称	別表第２ 機械及び装置の耐用年数表	法定耐用年数に関する事項を記入する。
		]または[番号]	18	
		又は用途]または[設備の種類]	生産用機械器具、製造業用設備	
			その他の設備	
		耐用年数(年)	12 年	

下記のプルダウンメニューから、該当する項目を選択する。
・設備導入（更新）　・運用改善
・部分改修/機能付加　・電化
・燃料 低炭素化　・電力 低炭素化

※1 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。

対策実施【前】

No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	① 年間消費量	① 単位	② CO2排出係数	② 単位	③=①*② 年間CO2排出量 (t-CO2/年)	④ 単価	④ 単位	⑤=①*④ 年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	4,120,600	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1804.8	25	円/kWh	103,015,000
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			○/年		t-CO2/○	0.0		円/○	0
10			□/年		t-CO2/□	0.0		円/□	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	メンテナンス費用		費用(円)	400,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1,804.8		合計(円)	103,415,000

エネルギー費用以外にかかる費用がある場合は記入し、費用を確認できるエビデンスを提出する。

対策実施【計画】

No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,852,500	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,687.4	25	円/kWh	96,312,500
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			●/年		t-CO2/●	0.0		円/●	0
10			■/年		t-CO2/■	0.0		円/■	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	メンテナンス費用		費用(円)	600,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1687.4		合計(円)	96,912,500

実施結果 （DX型）	

※1 DX型対策の場合は、実施結果を記載すること。
※2 計算式が成立する単位を設定すること
※3 対策【前】の年間使用量は基準年度活動量と整合させること。
※4 導入前の単価は昨年度の平均単価を使用すること。
※5 料金が従量料金と基本料金で構成されている場合、昨年度の年間経費から単価を逆算して求めること。
　導入後の単価は積算資料などの公的資料によること。ただし、エネルギーの種類が導入前後で同じ場合は導入前と同じ単価を使用すること。
※6 ランニングコスト削減額はCO2削減に直接係わる燃料、電力などのユーテリティの経費で評価する。
※7 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。
※8 クレジット売却収入益は計算に含めない。
※9 活動量からCO2排出量へ換算する係数は、環境省ホームページ掲載の、以下の図書を参照し、
　地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック＜補助事業申請者用＞　（令和7年3月改訂）
　・掲載URL:https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/gbhojo_00001.html
　・参照ファイル:ガイドブック（F:省エネ設備用）、計算ファイル（F:省エネ設備用）
　・ガイドブックに記載のある活動種別…換算係数は、このExcelシートに組込まれています
　・ガイドブックに記載のない活動種別…換算係数を手入力し、そのエビデンスを提出ください
※10 リスト以外の種別については、CO2排出係数のエビデンスを添付すること

削減目標量の算定方法

※上表に記載した情報に基づき、

・削減目標量＝導入前合計エネルギー消費量ｘ[（導入後設備水準(効率）－導入前設備水準（効率））÷導入後設備水準(効率)]X排出係数
の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法（実測／推計）も記載すること。

・手計算で追えるように具体的に数式を記載すること。

・表を貼り付ける場合は、表の元になるExcelファイルも添付すること。

ここに【削減目標量の算定方法】に基づく説明を第三者が見て分かる様に記入する。
または、別紙を提出する

対策個票2

【運用改善等】の記入例

GAJ No.	XXXXXXX

黄色いセルにプルダウンメニューから選択、または記入すること

対策の種類	運用改善	プルダウンメニューから、該当する項目を選択する。
計画年度	令和8年度 9月	← 対策の効果が始まる年度を選択

入力セル
プルダウンメニュー選択セル
自動計算・自動転記セル

A	対 策	内 容	コンプレッサーの吐出圧力低減による消費電力削減対策		
		費 用	200,000 円		
B	CO2排出削減目標量		50.0 t-CO2/年		
C	ランニングコスト削減目標量		2,689,375 円/年		
					←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
					←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
					←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
					←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
					←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				年	←設備導入（更新）以外の場合は記入不要

※1 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。

対策実施【前】

No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,852,500	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1687.4	25	円/kWh	96,312,500
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			○/年		t-CO2/○	0.0		円/○	0
10			□/年		t-CO2/□	0.0		円/□	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容			費用(円)	
b									
					合計(t-CO2/年)	1,687.4		合計(円)	96,312,500

No.	対策実施【計画】									
	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,736,925	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,636.8	25	円/kWh	93,423,125
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			●/年		t-CO2/●	0.0		円/●	0
10			■/年		t-CO2/■	0.0		円/■	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	メンテナンス費用		費用(円)	200,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1636.8		合計(円)	93,623,125

実施結果 （DX型）	プロセス側（使用側）の圧力（0.40～0.48MPa）に対し、コンプレッサー吐出圧を0.70MPaへ減圧して使用していたが、コンプレッサー吐出圧力設定を0.70MPaから0.60MPaへ変更して運用する改善を実施し、コンプレッサーの消費電力削減を実施した。

※1 DX型対策の場合は、実施結果を記載すること。
※2 計算式が成立する単位を設定すること
※3 対策【前】の年間使用量は基準年度活動量と整合させること。
※4 導入前の単価は昨年度の平均単価を使用すること。
※5 料金が従量料金と基本料金で構成されている場合、昨年度の年間経費から単価を逆算して求めること。
　導入後の単価は積算資料などの公的資料によること。ただし、エネルギーの種類が導入前後で同じ場合は導入前と同じ単価を使用すること。
※6 ランニングコスト削減額はCO2削減に直接係わる燃料、電力などのユーテリティの経費で評価する。
※7 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。
※8 クレジット売却収入益は計算に含めない。
※9 活動量からCO2排出量へ換算する係数は、環境省ホームページ掲載の、以下の図書を参照し、
　地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック＜補助事業申請者用＞　（令和7年3月改訂）
　・掲載URL:https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/gbhojo_00001.html
　・参照ファイル:ガイドブック（F:省エネ設備用）、計算ファイル（F:省エネ設備用）
　・ガイドブックに記載のある活動種別…換算係数は、このExcelシートに組込まれています
　・ガイドブックに記載のない活動種別…換算係数を手入力し、そのエビデンスを提出ください
※10 リスト以外の種別については、CO2排出係数のエビデンスを添付すること

削減目標量の算定方法

※上表に記載した情報に基づき、

・削減目標量＝導入前合計エネルギー消費量ｘ[（導入後設備水準(効率）－導入前設備水準（効率））÷導入後設備水準(効率)]X排出係数
の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法（実測／推計）も記載すること。

・手計算で追えるように具体的に数式を記載すること。

・表を貼り付ける場合は、表の元になるExcelファイルも添付すること。

ここに【削減目標量の算定方法】に基づく説明を第三者が見て分かる様に記入する。
または、別紙を提出する

対策個票3

【部分改修/機能付加】の記入例

GAJ No.	XXXXXXX

黄色いセルにプルダウンメニューから選択、または記入すること

対策の種類	部分改修/機能付加	プルダウンメニューから、該当する項目を選択する。
計画年度	令和8年度 9月	← 対策の効果が始まる年度を選択

入力セル
プルダウンメニュー選択セル
自動計算・自動転記セル

A	対 策	内 容	吐出圧力低減対策（給気口のフィルタ清掃、空気漏洩箇所の補修）	
		費 用	100000 円	
B	CO2排出削減目標量		1.0 t-CO2/年	
C	ランニングコスト削減目標量		-3,687 円/年	
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
				←設備導入（更新）以外の場合は記入不要
			年	←設備導入（更新）以外の場合は記入不要

※1 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。

対策実施【前】

No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,852,500	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1687.4	25	円/kWh	96,312,500
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			○/年		t-CO2/○	0.0		円/○	0
10			□/年		t-CO2/□	0.0		円/□	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容			費用(円)	
b									
					合計(t-CO2/年)	1,687.4		合計(円)	96,312,500

対策実施【計画】

No.	No.1～8は種別リストから選択し、リスト以外についてはNo.9～10に直接入力する。	①		②		③=①*②	④		⑤=①*④
		年間消費量	単位	CO2排出係数	単位	年間CO2排出量 (t-CO2/年)	単価	単位	年間ランニングコスト (円/年)
1	商用電力	3,848,648	kWh/年	0.000438	t-CO2/kWh	1,685.7	25	円/kWh	96,216,188
2						0.0			0
3						0.0			0
4						0.0			0
5						0.0			0
6						0.0			0
7						0.0			0
8						0.0			0
9			●/年		t-CO2/●	0.0		円/●	0
10			■/年		t-CO2/■	0.0		円/■	0
a	その他運転コスト(運転・管理費、用水費、薬品費等)				内容	補修費用		費用(円)	100,000
b									
					合計(t-CO2/年)	1685.7		合計(円)	96,316,188

実施結果 （DX型）	①給気口のフィルタ清掃を1ヶ月毎におこなった。 ②吐出圧力の低減対策として、空気漏れ箇所の補修作業を実施した。

※1 DX型対策の場合は、実施結果を記載すること。
※2 計算式が成立する単位を設定すること
※3 対策【前】の年間使用量は基準年度活動量と整合させること。
※4 導入前の単価は昨年度の平均単価を使用すること。
※5 料金が従量料金と基本料金で構成されている場合、昨年度の年間経費から単価を逆算して求めること。
　導入後の単価は積算資料などの公的資料によること。ただし、エネルギーの種類が導入前後で同じ場合は導入前と同じ単価を使用すること。
※6 ランニングコスト削減額はCO2削減に直接係わる燃料、電力などのユーテリティの経費で評価する。
※7 網掛けのセルは自動計算されるため、直接入力をしないこと。
※8 クレジット売却収入益は計算に含めない。
※9 活動量からCO2排出量へ換算する係数は、環境省ホームページ掲載の、以下の図書を参照し、
　地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック＜補助事業申請者用＞　（令和7年3月改訂）
　・掲載URL:https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/gbhojo_00001.html
　・参照ファイル:ガイドブック（F:省エネ設備用）、計算ファイル（F:省エネ設備用）
　・ガイドブックに記載のある活動種別…換算係数は、このExcelシートに組込まれています
　・ガイドブックに記載のない活動種別…換算係数を手入力し、そのエビデンスを提出ください
※10 リスト以外の種別については、CO2排出係数のエビデンスを添付すること

削減目標量の算定方法

※上表に記載した情報に基づき、

・削減目標量＝導入前合計エネルギー消費量ｘ[（導入後設備水準(効率）－導入前設備水準（効率））÷導入後設備水準(効率)]X排出係数
の計算結果を以下に記載すること。導入前合計エネルギー消費量の把握方法（実測／推計）も記載すること。

・手計算で追えるように具体的に数式を記載すること。

・表を貼り付ける場合は、表の元になるExcelファイルも添付すること。

ここに【削減目標量の算定方法】に基づく説明を第三者が見て分かる様に記入する。
または、別紙を提出する